

半田市立博物館

秋山 紘胤

職種：学芸員

入庁：平成29年度



どんな仕事？

郷土の自然や歴史、文化に関する資料の収集、保存、調査研究、展示、教育普及といった基本的な博物館業務のほか、文化財の保護に関する業務にも携わっています。

自分の専門分野（地質・化石）に関する資料はもちろん、それ以外の自然史標本や考古資料、民具、古文書、美術品に至るまで、あらゆる郷土資料を扱っています。

半田市（職場）の雰囲気は？

博物館は職員の人数が少ないこともあってアットホームな雰囲気です。とても仕事がしやすい環境です。事務室の壁には市誌や図録、報告書などたくさんの古い本が並んでいて、いかにも博物館といった感じです。

企画展や博物館講座などは比較的自由に企画できますので、学芸員としてやりがいのある職場です。

半田市を就職先にした理由は？

半田市には醸造業や山車といった特徴的な歴史や文化があること、知多半島内で化石が見つかること、半田市立博物館が小規模ながらも地域に根差した総合博物館であることなどがポイントでした。

また、家族とともに他県から引っ越して来る必要があったため、子育てがしやすく住みやすいような街であることも大きな魅力でした。

これから半田市を受ける人へのメッセージ

学芸員として、自分は半田市（博物館）で何ができるのか、何がしたいのか、どんな学芸員になりたいのかを何度も自分に問いかけてみてください。

これまで、半田市とあまり接点がなかったとしても構いません。私もまだまだ知らないことばかりです。

同じ学芸員として、これから郷土の自然や歴史、文化について一緒に探求していけることを、楽しみにしています。